

# りゅうがく館だより

令和3年2月号



今年の節分は2月2日。なんと日付が2日になるのは124年ぶりだそうです。寒い日が続きますが、立春を迎え少しずつ春の兆しを感じられるようになりますね。暖かい春の日を楽しみに待ちましょう。

## 蔵書点検のお知らせ

りゅうがく館図書室は、蔵書点検のため下記の期間中休室いたします。

3月8日(月)～3月14日(日)

### 利用不可

- × 図書室の立ち入り
- × 本の閲覧・貸出
- × 閲覧機の利用

### 利用可能

- 本の返却
- 新聞のみの閲覧
- 2階や講堂など、図書室以外の利用

### 蔵書点検とは？

図書館の本がきちんと揃っているのか、正しく並んでいるか、破れた本はないか等を確認する作業です。蔵書の全てを1冊1冊確認するため、非常に時間がかかりますが、図書館にとって大切な作業となります。

## \*\*\*おしらせ\*\*\*

おうちに未返却の本はありませんか？  
借ったことを忘れていた、掃除していたら出てきた、そんな本がありましたらぜひとも返却をお願いします。

## ～ 新着図書案内 ～

### 《一般書》

- 『エンド・オブ・ライフ』（佐々 涼子/集英社インターナショナル）
- 『いつの空にも星が出ていた』（佐藤 多佳子/講談社）
- 『武器としての凶で考える習慣』（平井 孝志/東洋経済新報社）
- 『その不調、栄養不足が原因です』（佐藤 智春/主婦の友社）
- 『レスキューナースが教えるプチプラ防災』（辻 直美/扶桑社）
- 『死ぬんじゃねーぞ！！』（中川 翔子/文藝春秋）
- 『世界の夢の動物園』（ナターシャ・ムーザー/エクスナレッジ）
- 『農業は夢・チャレンジのフロンティア』（門間 敏幸/農林統計協会）
- 『60分でわかる！eスポーツ最前線』（鴨志田 由貴/技術評論社）

他

### 《児童書》

- 『パンどろぼう』（柴田 ケイコ/KADOKAWA）
- 『ねぐせのしくみ』（ヨシタケシンスケ/ブロンズ新社）
- 『渋沢栄一 日本資本主義の父』（小沢 章友/講談社）
- 『ゆきだるまとかがみもち』（林 木林/鈴木出版）
- 『雪と氷の図鑑』（武田 康男/草思社）
- 『メルルとようかいのおしゃれやさん』（みみつぐみ/CHICORA BOOKS）
- 『ゲナボッコ』（クリハラ タカシ/白泉社）
- 『未来につながるまなびば子ども大学』（こどもくらぶ/フレーベル館）
- 『かんたん！かわいい！材料3つからのスイーツレシピ』（八木 佳奈/金の星社）

他

## 今月のおすすめ本

### 《一般書》

『水族館の文化史』（溝井 裕一/勉誠出版）  
古今東西の水族館文化を図版とともに解説。黎明期のユニークな展示から植民地支配とのかかわり、最新のヴァーチャル技術まで様々な面から水の世界へいざないます。

『1日3分歌トレ』（山本 健二/CCCメディアハウス）  
「どんぐりころころ」や「荒城の月」など41曲を収録。時代背景や歌詞の内容も解説。歌うことで脳の活性化やストレス発散、筋力アップで誤嚥防止にもつながります。

### 《児童書》

『おにのパンツ』（鈴木 博子/ひさかたチャイルド）  
「おにのパンツはいいパンツ」で有名なわらべうた「おにのパンツ」を絵本化。楽譜付きで、親子で歌ったり、手遊びしたりと楽しめます。

『危険生物ファイル』（小宮 輝之/学研プラス）  
「なぜサメは人を襲うの？」知識ではなく、ヒントや写真から自力で答えを考える新感覚クイズ図鑑。森や海、町などにひそむ危険生物が登場。危険生物の知識と一緒に考える力が身につく！

